



しののめYMCAこども園

園だより

2016年度 12月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

12月の聖句 「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる」

ルカによる福音書 第1章 28節

こども園ではクリスマスを迎えるために、アドヴェント礼拝を持ちながら、イエス様の誕生を心待ちにしています。年少さんは入園してから、先生よりたくさんの聖書のお話を聴きました。イエス様の話はとても不思議で、難しかったかもしれませんが、繰り返し聴くお話や礼拝を通じて、一人ひとりの心の中に、温かい気持ちや受入れる気持ち、信じる気持ちが芽生えてきたように感じています。

第一アドヴェント礼拝では、マリア様に赤ちゃんが授かるというメッセージが天使から伝えられます。すなわち「受胎告知」がされるのです。マリア様は当然驚き、不思議に思うのですが、私のような者でも良いのでしょうかと自問自答し、その不思議と事実を受入れ、さらに信じて委ねていくのです。

年長さんは、イエス様の誕生を伝える生誕劇の練習をしていますが、今の年少さん同様に入園当初は、聖書のお話や礼拝は不思議で難しかったと思っています。

そして3年が経ち、今年はメッセンジャーとして、イエス様の誕生を伝える役を担うようになりました。一人ひとりの心の中に、素直に受入れる気持ち・信じる気持ちが芽生え、大きく育った証と考えています。

生誕劇を演じるには、たくさんの役が必要です。年長さんはこの役決めからはじまります。昨年度の生誕劇を観て、「私は、僕は・・・〇〇の役をやりたい」と多くの園児たちが願っていました。役は皆の話し合いで決まり、願いが叶った園児も居れば、そうでない園児もおります。しかしながら、『肢体は多くの部分からなっており、それぞれの部分はその役割を果たしてこそ、肢体として成り立つ』と聖書には記されています。今年の年長さんも、この意味を理解し、受入れ、全員で取り組んでいます。大きく育った年長さんの生誕劇を楽しみにしています。

園長 堀江和広